

平成29年度 地域活性化事業交付金 交付決定事業一覧（緑区橋本地区）

平成30年3月1日現在

No.	事業名	団体名	事業の目的・内容	交付決定年月日	交付決定額 (単位:円)	全体事業費 (単位:円)
1	いきいき元気な地域づくり事業	NPOユウラック	<p>【事業の目的】 外国人の在住者が増える等、多様化する地域社会では日常の交流が大切である。人と人との交流や、地域とのかかわりを密にし、観賞者、出演者、企画者が主体的にかかわる参加型の「いきいきわくわくできる広場」を提供することにより、地域活動の活性化に繋げる。</p> <p>【事業の内容】 各種イベントの情報はソレイユさがみ、地域の公民館、関係機関等に掲示し、併せてチラシを配布する。 5月「詩吟と太鼓 さつきの共演 一伝統芸能 こころゆくまで」 詩吟、太鼓は日本の伝統の大きな役割を担い、地域の祭り、イベント等でよく見かけられ、身近な芸能として楽しく、親しみを持って受け入れられている。今回は宏升流の宗家を始め精鋭の吟士、ほかに「相模太鼓保存会」、「和太鼓我道 武蔵」の出演を予定している。</p> <p>12月「踊って、歌って、楽しく！お国自慢～アジアの国々と日本の共演～」 外国人と日本人それぞれによる踊り、歌、お国自慢・紹介などの発表を通して、楽しくふれあう広場での交流により地域活動の促進を図る。 前半は、神奈川経済専門学校の外国人の方々を中心に発表であり、後半は身近に地域で活動している日本人の方々それぞれの得意な演目を披露する。入場者、出演者、企画者の交流を通じて、地域の人々が明るく元気でいられるまちづくりを推進する。</p>	平成29年4月21日	225,000	57,000
2	じょいふるオレンジカフェ事業	じょいふるカフェ会	<p>【事業の目的】 地域の高齢者の介護予防と、認知症になっても安心して住み続けられる地域づくりを目的とし、認知症の高齢者とその家族が自由に参加できる場所の提供と、地域の住民同士が介護の悩みを共有できる仲間づくりを支援する。また、特に認知症の奥さんを介護している閉じこもりがちな男性を参加を目指している。</p> <p>【事業の内容】 認知症カフェを開設し、認知症の高齢者とその家族が気楽に立ち寄れる場所を提供する。参加者同士の情報交換のほかに、医療やケアの専門職の先生を講師として招いて講義等や相談会を開催し、日々の生活や介護の悩みなどを相談できる場を設ける。また、認知症キャラバンメイト、認知症サポーターの交流の場づくりを行う。</p>	平成29年4月21日	58,400	50,000
3	二本松にここサロン事業	二本松にここサロン	<p>【事業の目的】 希望者が気軽に参加し交流できる場の提供を目的とする。経済的に無理のないコミュニティづくりを第一に、参加者に新たな趣味や生きがいを見つけてもらえるよう多様な「楽しみ」の場を提供する。「おしゃべり」+「お茶会」&「楽しみ」により、参加者と運営委員らが一体となり、人と人との交流、関わり合いなどを通して、いつもにここ元気で楽しくいられるようにし、地域の活性化に繋げていく。</p> <p>【事業の内容】 地域の町内会館で、月に2回サロンを開催する。出前講座(健康体操、映画会、三味線演奏、キーボード演奏、オカリナ演奏、大正琴演奏、輪投げゲーム等)を通じ、参加者の交流や健康増進を図る。また、開催後は、反省会を設け、どの様な催しが皆に喜ばれるのか、反応はどうだったか等を意見を出し合い、新たな企画に反映していく。</p>	平成29年4月21日	156,000	87,000
4	緑区のこどものまち	スマイル ミニシティ プロジェクト	<p>【事業の目的】 仮想のまちの運営により、自らの力で「まち」を変えていく体験をしてもらうことで、こどもの社会参画意識の育成を図る。また、参加することもたちや若者の活躍によって将来の橋本地区のまちづくりへ積極的に参画する市民の育成を目的とする。</p> <p>【事業内容】 昨年度の「こどものまち」で当選した市長や議員、公募することも店長と学生ボランティアにより、仮想のまち「緑区のこどものまち」をつくる。「こども会議」を2回開催し、「まち」に必要な具体的な施設を考える。イベント当日は募集により集まった「こども市民」がこの「こどものまち」で様々な社会体験をする。</p>	平成29年4月21日	350,000	250,000

No.	事業名	団体名	事業の目的・内容	交付決定年月日	交付決定額 (単位:円)	全体事業費 (単位:円)
5	子ども食堂「マリ・いこいの家」を中心とする地域交流事業	マリ・いこいの家	<p>【事業の目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもが安心して過ごせる居場所づくり。 課題を抱える家庭と支援者の交流、つながりづくり。 支援者の発掘、支援者同士のネットワークの形成、ひいては地域の福祉力の向上。 <p>【事業の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 課題を抱える家庭の親子等への夕食の提供 <ul style="list-style-type: none"> 毎週火曜日 午後6時～7時30分(準備は5時～) 当面10～15食程度を予定 来場者と支援者、来場者同士の交流 対象者への情報提供 <ul style="list-style-type: none"> 関係者への周知の依頼(自治会、民生委員、学校、PTA等) チラシの作成等情報発信 支援者同士の交流、情報交換、新たな支援者(調理、子どもの遊びや勉強の相手、食材提供等)の募集 高齢者いきいきサロン「いきいきサロンコスモス」との連携 	平成29年8月25日	433,000	300,000
6	「橋本地区文化財お散歩マップ」・「橋本の歴史ガイドブックの刷新事業及び「橋本郷土研究会資料」復刻版製作事業	橋本の歴史を知る会	<p>【事業の目的】</p> <p>地域で生まれ育った人達のもとより、他地域から移住された多くの人達にとって、この橋本を故郷(ふるさと)として意識するうえで、地域の歴史を知ることが大変重要な要素といえる。これまで制作してきた「橋本地区文化財お散歩マップ」及び「橋本の歴史ガイドブック」の増刷、また地域の歴史を掘り起こした貴重な資料である「橋本郷土研究会資料」の復刻版を制作し、小中学校を始め、図書館・公民館のほか希望者へ配布する。地域の歴史に関心のある多くの人達に、地道に研究・調査した資料を公表し、活用してもらうことで地域の歴史の伝承を図る。</p> <p>【事業の内容】</p> <p>橋本地区文化財お散歩マップ・「橋本の歴史ガイドブック」刷新</p> <p>これまで配布してきた中で寄せられた希望や修正を要する箇所を訂正し、作成する。配布にあたっては、改めて図書館・公民館・学校等の教育機関、公的機関に配布すると共に、「マップ」については、公民館窓口で随時配布するほか、「ガイドブック」については、300部を一般配布とし、地域情報紙等に掲載し、先着順で無償配布を考えている。なお、「ガイドブック」の残部については、学習グループや歴史講座等の要請に対応していきたいと考えている。</p> <p>橋本郷土研究会資料、復刻版制作</p> <p>広く一般の人々に調査研究資料として活用してもらうために、図書館・博物館・公民館・管内の学校等に配布する他、特に歴史に関心を持つ関係団体や個人への配布を考えている。なお、復刻版制作は経費の関係から、橋本の歴史を考える会会員の自主印刷とし、製本のみ業者に依頼する。</p>	平成29年8月25日	896,480	860,000